

No. 137

2009
Sep.

9

KSKR

きずな
THE KIZUNA

一九九六年五月一日発行第三種郵便物承認 毎日発行

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

奈良県自閉症協会
ニュース

発行人：

関西障害者定期刊行物協会

編集人：奈良県自閉症協会

支部長&事務局：河村舟二

〒639-1005

大和郡山市矢田山町 84-10

購読料1部 100円

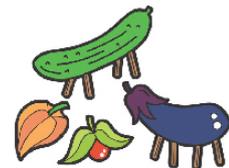
会員は会費に含まれています。

☆障害者・児の生活・介護等に関する調査

今回、奈良県では「障害者・児の生活・介護等に関する調査」を実施しています。その対象が、これまでの身体・知的・精神の三障害に加えて、発達障害・高次脳機能障害の二つが加えられています。われわれ奈良県自閉症協会（旧社団法人日本自閉症協会奈良県支部）が発足した平成10年当時は奈良県では自閉症児者の支援施策が皆無でした。これを考えると奈良県の障害者施策の進展が感じられます。この奈良県のアンケートの実施は自閉症をはじめとする発達障害への支援対策の重要性がやっと認識され、県の障害者施策のこの大きな課題に取り上げられるようになったことを示します。

会員の皆様をはじめ会員外でも自閉症をはじめ発達障害とされている県内の人一人でも多くこのアンケート参加協力されることを望みます。特に障害者手帳はもっていない高機能自閉症・アスペルガー症候群の人たちがアンケートに参加し、医療や就労や日常生活の上で、暮らしにくさの実態や支援課題が明らかになるように多数の方の調査協力をお願いしたいと思います。以下は、アンケート用紙の表紙に掲げられている知事の協力依頼の文章です。

(河村)



障害者・児の生活・介護等に関する調査

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、奈良県政に対し、格別のご理解とご協力をいただきありがとうございます。

このたび奈良県では、障害者福祉のいっそうの充実に向けて、障害者とその家族の皆様の生活実態を把握し、皆様方が感じておられる課題やニーズを、今後の施策検討や「奈良県障害者長期計画2005」等の見直しにしっかりと反映させていきたいと考え、「障害者の生活・介護等に関する実態調査」を実施することとしました。

お送りしたアンケート調査は、質問数も多く、中にはかなり踏み込んだ内容の質問もありますが、ご回答は無記名でお願いするものであり、回答内容から個人が特定されることはありませんので、どうかありのままをご回答いただきますようお願いいたします。

一人でも多くの障害者とその家族の皆様のご意見をお聴きしたいと思いますので、お忙しいところ、お手数をおかけしますが、県政の発展につながるものであり、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成21年8月 奈良県知事 荒井正吾

厚生労働省 平成22年度概算要求

厚生労働省平成22年度概算要求事項から

厚 厚生労働省の平成22年度概算要求資料が発表されています。以下は、自閉症に関するところの抜粋です。とくに奈良県自閉症協会でも取り組んでいる「ペアレントメンターの養成」などにも言及しています。全文は次のアドレスに掲載されていますので、必要な方はご覧ください。

<http://www.autism.or.jp/kouseiroudou05/h22yosan/index.htm>

(3) 発達障害者の就労支援の推進 (一部再掲・38 ページ参照) 5.9 億円(3.7 億円)

ハローワークにおける支援体制の整備や事業所における職湯実習の実施のほか、発達障害者を雇用し、適切な雇用管理を行った事業主に対する助成を実施する等により、発達障害者の雇用の促進を図る。

5 障害者に対する就労支援の推進(再掲・38 ページ参照) 252 億円(228 億円)

(1) 雇用・福祉・教育等の連携による地域の就労支援力の強化 70 億円(59 億円)

さらに、ペアレントメンターの養成や、発達障害特有のアセスメントツールの導入を促進する研修会の実施等により、発達障害児(者)及びその家族に対する支援体制の一層の強化を図る。

(2) 発達障害者の支援手法の開発や普及啓発の着実な実施 6.4 億円

発達障害者の支援手法を開発するとともに、専門家の育成や普及啓発について着実に実施する。

○青年期発達障害者の地域生活移行への就労支援に関するモデル事業の推進 42 百万円

国立障害者リハビリテーションセンターにおいて、青年期発達障害者の職業的自立を図るため、関係機関等と連携して就労支援モデル事業を実施する。

○発達障害者支援開発事業の推進 4.6 億円

発達障害者一人一人のニーズに応じた一貫した支援ができるよう先駆的な取組みを通じて発達障害者への有効な支援手法を開発・確立する。

○発達障害情報センター機能の充実 57 百万円

発達障害情報センターにおいて、発達障害に関する国内外の文献、研究成果等を集積し、全国の発達障害者支援機関等への発達障害に関する幅広い情報提供等を行うとともに、各自治体の発達障害に関する支援体制の好事

(2) 障害特性に応じた支援策の充実・強化 19 億円(14 億円)

(3) 障害者に対する職業能力開発支援の強化 64 億円(64 億円)

(4) 「工賃倍増5か年計画」の着実な推進 17 億円(17 億円)

5 発達障害者支援施策の更なる拡充

(1) 発達障害者の地域支援体制の確立 3.0 億円

発達障害者の支援を実施する地域支援体制の確立を推進する。

○発達障害者支援センター運営事業の推進

(地域生活支援事業(440 億円)の内数)

各都道府県・指定都市に設置する発達障害者支援センターにおいて、発達障害者やその家族等に対して、相談支援、発達支援、就労支援及び情報提供等を行う。

○発達障害者支援体制整備事業の推進 3.0 億円

ライフステージに対応する一貫した支援を行うための支援関係機関のネットワークを構築するとともに、市町村における個別の支援計画の実施状況の調査及び評価や、適切な助言(巡回指導)等を行うことにより、支援体制の整備を行う。

例を集めたモデル事例集や、支援手法等を集めた支援マニュアルを策定する。

○発達障害者支援者実地研修事業の創設 45 百万円

発達障害児(者)への専門的な支援を行う発達障害者支援センター職員等を対象とした中期の実地研修を実施し、地域において指導的な役割を担うことができる専門的な人材を育成する。

○「世界自閉症啓発デー」普及啓発事業の推進 15 百万円

国連が制定した「世界自閉症啓発デー」(4月2日)の周知と、自閉症を始めとする発達障害に関する正しい知識の浸透を図るための普及啓発活動を実施する。(以上抜粋)



平成21年度独立行政法人福祉医療機構助成事業
「自閉症児者の療育と就労資源開拓事業」

実践セミナー 就労クラス

第3回目

さつまいも畑の草引き

集合日：9月22日(火) 9:00開始

集合場所：宇陀城山ファーム

持ち物：ぼうし、軍手、タオル、スコップ、(あったら 鍬・カマ)

水筒、汚れてもいい服装とくつ、おやつ、予備の服とくつ

終わったら 希望者のみ

あきの湯で汗を流し、その後お楽しみ ランチタイム

申込先：光野 TEL/FAX:0742-71-4088

e-mail:nahi-kon@m3.kcn.ne.jp

.....

宇陀城山ファームの さつまいも畑の その後
いのししに荒らされても 負けずのさつまいもの苗は
草にも負けず、頑張っています。

さて お盆休み中の 16日、さつまいもの横の雑草は
手抜きで除去、ふち回りと溝は 草刈り機で除草して
少し スッキリなりました。

その後も 草もさつまいもつるも どんどん成長してい
て 再度 9月の連休に草引きを計画していますので
お時間のある方は 是非 お手伝いくださいね。

落花生とは 反対側の いのしし柵の近くに 新しく
こんにやく芋も 仲間入りしました。こんにやく芋は肥
料は無しでじっくりと 育てるのだそうです。ちょっと
時間がかかりますが 晩生型の作物のようです。

あせらず ゆっくりの 非定型発達の子供たちと かさ
なります。とにかく当初の計画通りの焼いもパーティが
実現なるか?は今後のいのししたちの食欲にかかって
いそうです。



療育部会からのお知らせ

今年も、秋のレクリエーション『ポニーの里』の季
節がやってきました。

みなさん、お馬さんと楽しい時間を過ごしませんか？

☆日時

10月25日(日) 13時45分集合 14時開始

☆場所

ふれあい乗馬センター「ポニーの里」

高市郡高取町市尾245

TEL 0744-52-3902

☆参加費 無料

☆参加人数は、療育部の子どもさん15名までです。

☆希望者多数の場合は、調整させていただくことがあり
ます。

☆ご兄弟の参加も可能ですが、ご兄弟の乗馬はできませ
んので、ご了承ください。

☆8時30分現在で雨天の場合、中止することもありま
す。

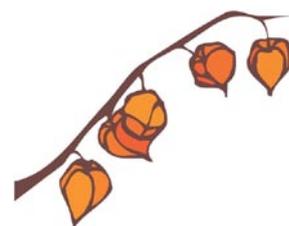
詳細はこちらからまたご連絡させていただきます。

参加申し込み・問い合わせ

北部 石原 0742-36-6298

南部 吉村 0745-52-8889

◆10月3日(土)締め切り厳守



啓発キャラバン隊報告

平成21年度 善意銀行助成金による

自閉症児者と楽しむ音楽遊びと啓発キャラバン隊

自閉症啓発ビデオ鑑賞会と 親子ふれあい体操
8月分 無事終了。ありがとうございます。

障がいを持っている人も持っていない人も
自閉症の人もそうでない人もみんなで過ごす ひととき
を！！

自閉症や発達障害をテーマにした ミニ上映会と リズ
ム体操 最初の2回をおえました。

☆「自閉症の子どもたち」 バリアフリーを目指して
このDVDは自閉症という障害について多くの方に知っ
ていただきたいと考えから (社)日本自閉症協会で作
成され 全国で自閉症の理解を深めるべく様々な場所に
活用されています。有名な先生のセミナーでも1部、使
用されたほど、分かりやすい内容です。何度みても 基
本的な事がしっかりと入っているので とても参考にな
りました。

☆人権教育啓発映画「アイム ヒア 僕はここにいる」
知的に遅れはないものの、発達がアンバランスなために

こどもたちが屈託なく音楽に身を任せているのが印象に
残りました。
おもわず木村先生にかけよって、お話をお聞きさせてい
ただきました。」
体操講師として 木村さんにも 本当にお世話になりま
した。また 楽しいひと時に お力をよろしく お願い
いたします。
数少ない参加者さんでしたが 終了後 相談にのってほ
しいとの方とお話できました。
どの程度お力になれたか？ でもお話をお伺いするだけ
で、様々な 修羅場経験者が勢揃いの役員保護者でした
ので 心から共感させてもらえたのではと思えます。
そうなんです、悩んでいるのは1人ではなくて、みん
な一緒！
一緒に また 暑い汗をかきたいと 思います。
後2回、場所は変わりますが ご参加をお待ちしており
ます。

学校や社会の中で生きにくさを感じ、苦しんでいる“発
達障害”の人たちのことを理解するとともに、どんな支
援が必要であるかをまなび、すべての人の人権が尊重さ
れる豊かな社会の実現について うまくまとめられてい
ました。

日程や天候、新型インフルエンザの関係などで 参加者
があまりなく 残念でしたが 12月にも 再度の計画
しておりますので 見逃された方も ご都合をつけてご
参加ください。

DVD 鑑賞の後は 大人も子供も みんなで ちょっと
良い汗をながしました。

以下は 参加された方からの コメント。
「鑑賞会、また親子体操を経験させていただいてとても
有意義でした。特に「体操」。かなり体をつかい頭も
使い、けっこうな運動量に普段運動も怠っている体がヨ
レヨレになりましたが(笑)、よちよちの乳児から高校
生くらいでも一緒に輪になってできた一体感は格別でし
た。

「ドラえもん」「ラーメン体操」などイメージしやすい題
材で音楽と同化できるのは障がいあるなしに関係なく、
頭も体も開放されるのがいいですね！楽しい。

日 時	プログラム	場 所
12月25日(金)		
13:00 (午後受付)	13:30 ~ 14:40 親子ふれあい体操 15:30 ~ DVD鑑賞	やまと郡山城 ホール レセプション ホール
18:00 (夜受付)	「自閉症の子供た ち」「アイム ヒ ア 僕はここにい る」 18:30 ~ 自主上映 会「モーツアルト とクジラ」	(定員 100名)
1月23日(土)		
10:00 (午前受付)	10:00 ~ 自主上映 会「彼女の名はサ ビーヌ」	やまと郡山城 ホール レセプション
13:00 (午後受付)	13:00 ~ 親子ふ れあい体操	ホール (定員 100名)

映画『モーツァルトとくじら』

自閉症の一種であるアスペルガー症候群の2人がぶつかりながらも 成長していく心暖まる映画です。

本作は「レインマン」を観たことがきっかけで、自身の障害に気付いたジェリー・ニューポートが監修を務めています。

ドナルド（ジョシュ）とイザベル（ラダ）の恋模様は純粹で、あまりにもきれいな心を持った2人は時にぶつかりながらも関係を築いていきます。だが、近づけば近づくほど「障害」の存在を意識してしまうのです…

ただただ「普通」でありたいと願う彼らの生き様を観てほしい！

不適切なケアによって、一人の人間が歩んだ悲劇を公にした、心を揺さぶるドキュメンタリーである。25年の歳月をかけて撮影された映像は、彼女の「変化」が描かれるとともに、変わらない愛に満ちた「眼差し」に溢れている。入院して間もなく妹の状態が悪化していくことに気づきました。これは異常だと思いました。妹のかつての美しい姿や才能を懐かしく思い起こしたのです。彼女が入院していた5年の間に私の怒りは大きくなる一方で、“いつかこのことについて映画をつくろう 絶対に作る！”と何度も自分に言い聞かせました。

(サンドリーヌ・ボネール)

映画『彼女の名はサビーヌ』

第60回カンヌ国際映画祭監督週間出品

国際批評家連盟賞受賞

フランス映画界の巨匠から愛されてきた女優サンドリーヌ・ボネール。

本作は、彼女の初長編監督作品にしてその才能が高く評価された作品であると同時に、自らの妹が自閉症でありながら、正確な診断を受けることなく、長期にわたる

メンター養成講習会のご案内

内容	講師	日時	場所
②相談技術と基礎知識（情報の伝え方）	波多野伸江氏 生駒市役所健康課 発達相談員臨床心理士	10月29日 (木) 10:30-12:30	大和郡山市 福祉会館
③サポートブック作成リーダー研修	加藤 香氏 愛知県自閉症協会	11月11日 (水) 10:30-12:30	奈良商工会議所 A会議室
④家族への支援	姜 昌勲氏 きょうこころのクリニック 院長	11月12日 (木) 10:30-12:30	奈良商工会議所 A会議室
⑤実技研修・ロールプレイ	大西 和幸氏 奈良県発達障害支援センター	11月17日 (火) 10:30-12:30	大和郡山市 福祉会館

「サポートブック作成研修会」

講師 加藤 香氏（愛知県自閉症協会理事・支援部部長）

日時 平成21年 12月 13日（日）

午前 10:00～12:00 保護者向け研修

午後 13:30～15:30 支援者向け研修

場所 奈良商工会議所 中会議室

参加費 1,000円 定員 各30人

成人の自閉症の方への支援勉強会日程

事例検討 9月15日（火曜日）

対談：これから必要なこと 10月20日（火曜日）

10:00～12:00 場所 あざさ苑 和室

磯城郡三宅町伴堂848-1

TEL: 0745-43-2078

成人支援者の為の勉強会

日時 11/4(水)・12/2(水)・1/20(水)・2/17(水)・3/17(水)、午後 6:30～8:30

場所 奈良商工会議所 A 会議室 参加費 無料 定員 50名 中学生以上、原則全5回とも参加できる方

私たち 頑張って 生きています。
私たち、発達障がい者は 社会の底辺での見えな
い偏見、現実社会の中で 医療・行政の支援の仕組みの
隙間に落とされた辛い長い時間の中で苦しい思いでいま
す。

当事者も親も支援者たちも苦しいのです。
“柵の上にある支援でなく” 本当の心温まる支援が1つ
でも多く、必要なのです。これまで、様々な発達障がい
の人の事件にも遭遇してきました。

その時、何もしてあげられずに 無力な悲しい涙を流す
ことしか出来ずに来ました。哀しい出来事を繰り返さない
ためにも、日本の福祉施策、制度の有り方にも、見直
すべく動かねばならないのだと 痛感しています。 同
じ個性を持つ者として、命の中にある思考世界を暖かな
心と手で包み込む想いで起きてくる事態に目をそらさ
ず、『人の痛みを我が痛み』として捉えていく眼差しで
受け止めることができたなら。そんな「こころの目」「魂
の目」で 私が見て、感じて考えてこと……

私が必至で今まで生きてきた、サバイバルの道。

どんな支援が「本当の心温まる支援」なのか？

アハメッドの心のページを綴ってみました。

1ページ 目

(絶対、許容範囲を超えた無理させないで……！)
周囲も本人に無理は望まないで……要求しないで……
欲しい。

大変な事を連続的に強要しないでほしい。 パニッ
ク！ 切れる！ 爆発！へと悪い連鎖につながるその一
歩前に 逃げ道へ！ 安全圏へ！

人間回帰への大切な支援の1つなんです。

つづきは来月2ページ目から……

アハメッド敦子
編集 by ueshima

事務局からのお知らせ

1 月以降の活動計画のお知らせ
今年も複数助成金による活動を並行して行って
います。

日程・場所のみが決定したが 詳細を調整中にて募集
案内待ちの計画につきましては、ご予約を開けて頂
けましたら幸いと事前広報させていただきます。

☆赤い羽根共同募金助成による講演会と映画上映会
日時 1月30日(土)

<人間回帰への道程>

発達障がい者も “人間”として 生まれ、生き、育っ
ている！

そんな根本的なことを忘れてないでほしい。

だから 間違った周囲の認識を
(普通はこうだからという勝手な想像から) 当人に押
しつけないで！

☆『抜け道』『安全圏』を常に 確保してあげて欲しい。
抜け道・安全圏とは 具体的な場所だけでなく、目を向
ける視点や方向性についても、言えます。ちょっと視点
を変えるだけで(安全圏だと思えるだけで) 本人の心の
あり方、精神的負担が軽減してきて楽になれるのです。

それが 他人を見まわす意欲にもなり、孤独からの回
避も可能となります。 精神的苦しみをそのままにする
と さらに苦しみが苦しみを呼ぶ！！事になり、悪循環
に……“自分にできる範囲”の見極めは 発達障がい
の人には 難しいので“一歩手前”で 立ち止まること
ができれば、心は軽くなってゆける 筈～♪

限界の1歩手前で ストップ地点を 伝えてほしい！！
これ以上 無理にしなくて 良いのだ！と 伝えて、安
心を与えて欲しい。

場所 奈良市北部会館 市民ホール
(近鉄高野原駅・すぐ)

午前：自閉症を描く映画 「ぼくはうみをみたくなりま
した」の自主上映会

企画・原作・脚本の 山下 久仁明さんも 舞台挨拶に来
て下さる予定です。

午後 吉田友子医師(ベック研究所)の後援会
「その子らしさを生かす子育て」「あなたがあなたである
ために」の著者

☆「PECS 2Day ワークショップ」奈良県自閉症協会主
催で開催

日時 2月6日(土)・7日(日)

場所 奈良商工会議所

10月号以降にて案内を予定しておりますので 以上
の日程にてご予約をよろしく願致します。

平成21年度独立行政法人福祉医療機構の助成による「自閉症児者の療育と就労資源開拓事業」

発達・療育相談の実施のお知らせ (無料)

自閉症スペクトラム児の発達・療育相談会を電話・FAX・メールにて 個人の発達相談をお受けいたします。相談員は、ペアレントメンターが同じ悩みを持つ親の立場で相談を受けます。必要な場合は 発達相談員、障害児学級教員、養護学校教員などのボランティアによる ご相談もお受けいたします。

問い合わせ・申し込みは FAX 又は メールにて ご連絡下さい。

TEL/FAX 0742-36-0205 (TELの場合は留守電に連絡先を)

E-mail asj_nara_oomiya@yahoo.co.jp

奈良県自閉症協会HP <http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

☆ FAX と メールによる簡単な相談も 随時受け付けいたします。

1週間以内に 返信いたします。 メール希望 () FAX希望 ()

相談者氏名		本人との続柄
又は 参加者		
住所	〒	電話 FAX
奈良県		
生年月日	年 月 日 () 才	
ふりがな 名前		男・女
学校又は職業	()	
	保育所・通園施設・幼稚園・小・中学校・高等部・就職・作業所	
生活の場	自宅・施設	自閉症協会 1. 会員 2. 会員でない(○をつけて下さい)
今回相談なされたい内容 (事例提供・相談者のみ)		

*お寄せ頂いた情報は相談会のご連絡や 相談以外には使用いたしませんのでどうかご安心願います。

発行人：関西障害者定期刊行物協会

住 所：〒536-0023

大阪市城東区東中浜3-5-16タイガーマンション1F

編集人：河村 舟二

定 価：100円